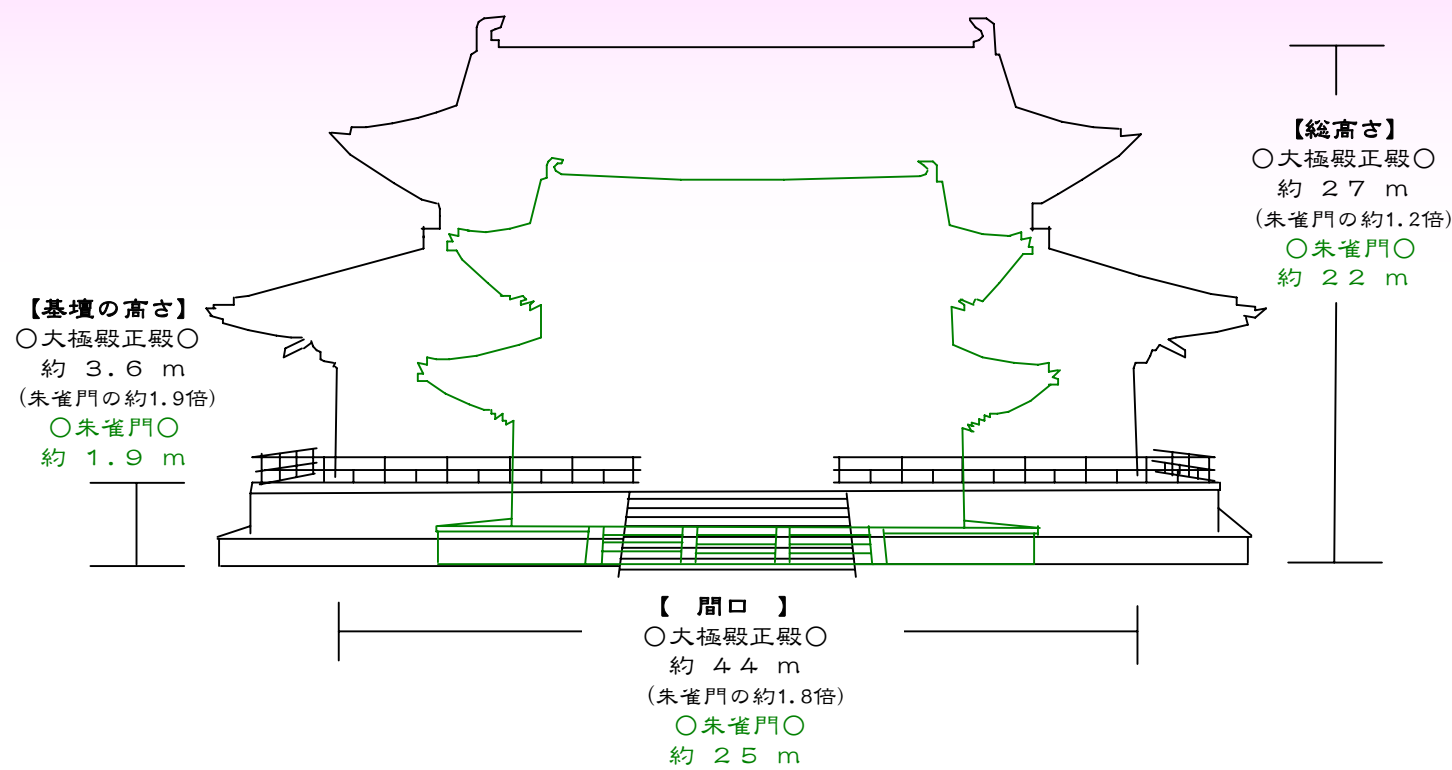




# 第一次大極殿正殿と朱雀門の比較



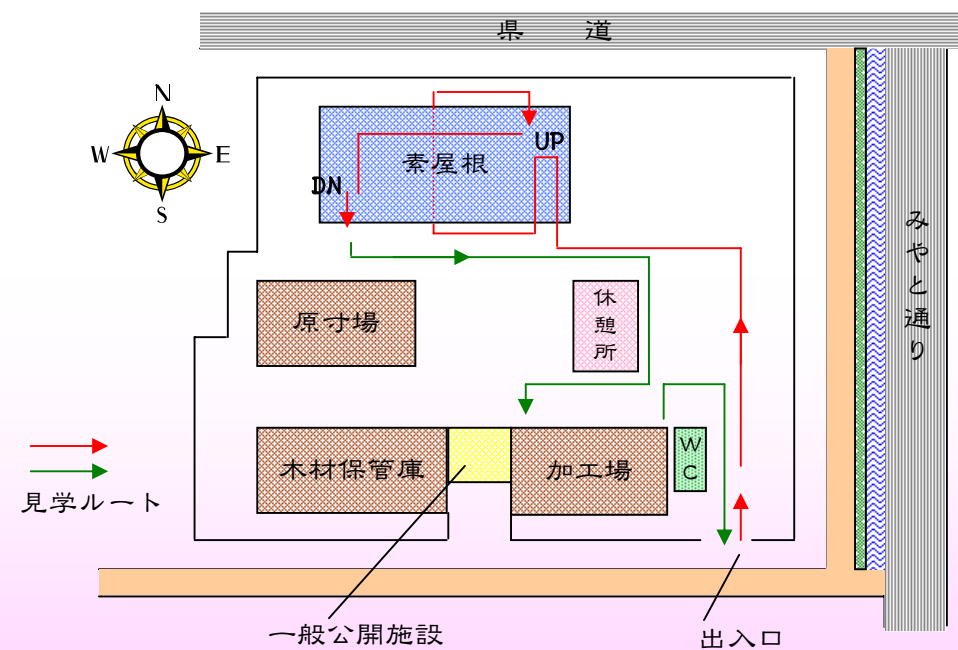
## 特別史跡 平城宮跡

# 第一次大極殿正殿復原整備

## 特別公開 (第5回)

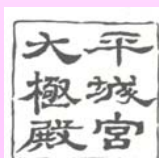


### 現場内 見学ルート



平成18年11月 3日 (金) ~ 11月 5日 (日)

- 主催■ 文化庁
- 共催■ 奈良県 奈良市
- 協力■ 文部科学省  
 奈良県教育委員会 奈良市教育委員会  
 独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所  
 (財)文化財建造物保存技術協会  
 平城遷都1300年記念事業協会  
 平城宮跡第一次大極殿正殿復原工事  
 竹中・浅沼・森本特定建設工事共同企業体  
 特定非営利活動法人 平城宮跡サポートネットワーク  
 平城宮跡保存協力会  
 日本伝統瓦技術保存会  
 (株) 瀧川寺社建築
- 制作■ 第一次大極殿正殿復原整備第5回特別公開事務局



◆ 木材の組立工程 ◆

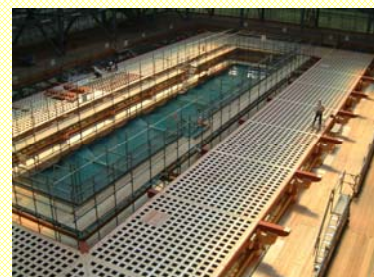
平城宮跡第一次大極殿正殿復原 設計概要

◆ 組立工事の進捗状況 ◆

◆ 木材の組立 ◆



平成16年 2月



7月  
(第1回特別公開開催)



12月



平成17年 5月  
(第2回特別公開開催)



8月



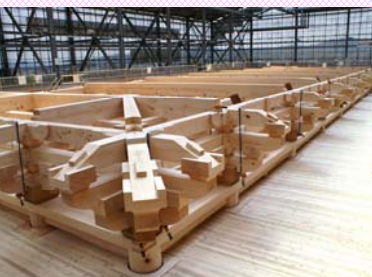
11月  
(第3回特別公開開催)



12月



平成18年 4月  
(第4回特別公開開催)



5月



9月



10月

平城宮跡第一次大極殿正殿復原は、当時の奈良国立文化財研究所(現独立行政法人 文化財研究所奈良文化財研究所)において、平城宮跡におけるそれまでの研究成果を基に、平成10年度から平成12年度までの3年間で実施設計を行いました。

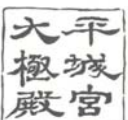
第一次大極殿正殿復原整備事業は、調査研究の成果を基に奈良時代様式(意匠・構造・材料・工法等)の史実に基づく厳正な復原を目指しています。

『奈良時代様式』での厳正な復原の実施のためには、建築基準法・消防法等の現行の建設関係法令等に適合させるとともに、特別史跡平城宮跡の埋蔵文化財の保護・保存のための処置を実施しています。

— 正殿完成予想CG —

埋蔵文化財に対する保護：遺構面上部への盛土(約80cm)

現行法規に対応する設備：免震装置の設置(基壇内部)  
 : 自動火災報知設備の設置  
 : 屋外消火栓の設置  
 : 避雷設備の設置



◆ 木材の加工 ◆

木材は、粗加工された状態で搬入され、木材保管庫で検収・保管・乾燥させた後、奈良時代当時の伝統工法により仕上げが施されます。



柱 ちょうな加工



地垂木 やりがんな仕上げ

◆ 塗装 ◆

大極殿の建物木部には丹土塗装、軒や天井などの建物内部には古代技法に倣って文様彩色が施されます。



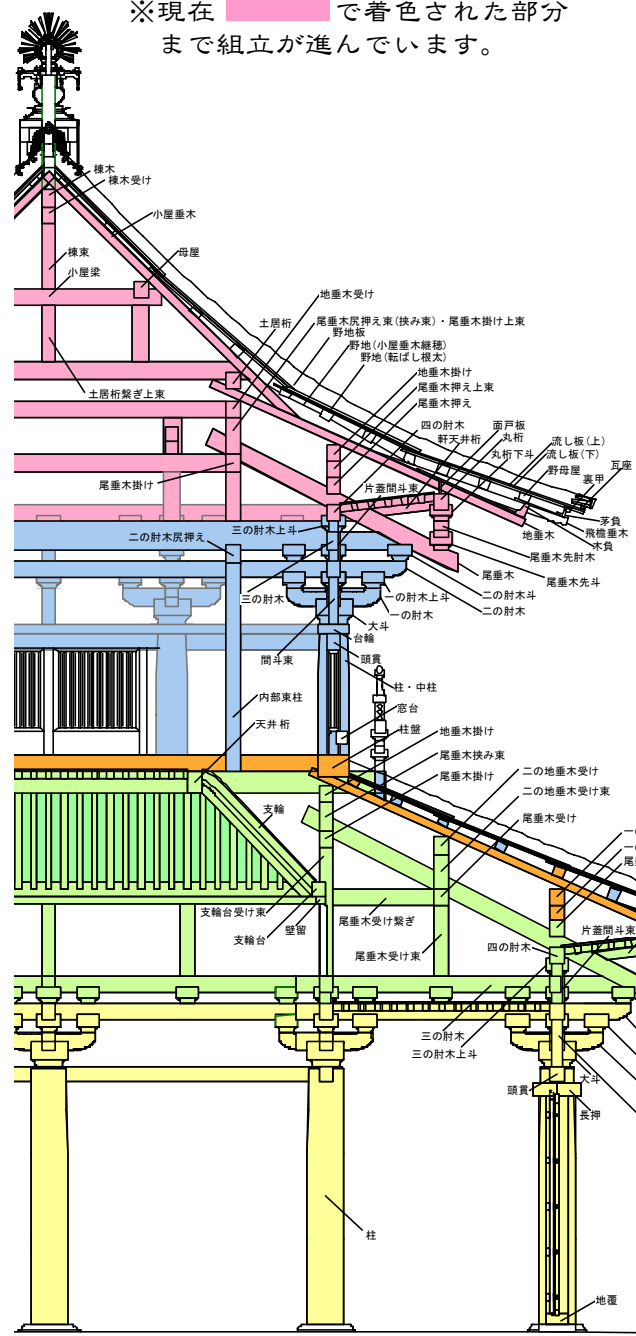
軒天井格子 丹土塗装



文様彩色(支輪板)

- ◆ 第1回特別公開時(平成16年 7月)
- ◆ 第2回特別公開時(平成17年 5月)
- ◆ 第3回特別公開時(平成17年11月)
- ◆ 第4回特別公開時(平成18年 4月)

※現在 [ ] で着色された部分まで組立が進んでいます。



加工された木材は、順次、素屋根内に運ばれ組み立てられます。



初重柱 組立



二重柱 組立



初重二の肘木 組立



二重尾垂木 組立



初重軒天井格子 組立



二重地垂木 組立



二重扱首棹 組立

※安全対策上の観点から、素屋根3階へは上がりません。場内展示物等で二重部分の組立状況をご覧ください。